

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らし暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくあげている	利用者様お一人おひとに対して「尊厳をまもる」慈愛の心」を基本理念に、ゆったりとした時の流れを味わって頂ける様に職員一同励んでいる。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会社とホームにそれぞれ理念があり、その理念をいつも念頭に置き取り組んでいる。またミーティング時や日頃から職員同士連携をとりその理念に基づいた介護をして入る	「安全 安心 信頼」をモットーに真心と優しさを持ったサービス提供に心掛けていますが、安心して楽しく過ごせる我が家の様な生活空間を作り出せるよう理念に基づき日々努力して入る
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	交流や行事などを盛り込んだ通信などを月に1回の割合で発行したり、ホーム外に掲示板を設置し、地域へもしっかりと理念を伝えている	基本理念を元に安心と信頼に向けた関係作りと支援に取り組む、その人らしい暮らしを続ける為の日々の支援、ケアマネジメントと介護サービス提供に努めている
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日々の明るい挨拶を忘れず、ホーム外の掃除などもこまめに行いいつでも立ち寄って頂ける様な環境作りをし、敷居を低くしている	近隣の方と顔を合わせる機会を多く持ちつつ、ホーム外掲示板を利用しホームの通信により地域ボランティアを求めつつホーム内の行事にも参加して下さるよう努力している
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の夏祭りへ参加するなど、積極的に情報収集をし、利用者様と一緒に行事を把握した上で実施している	地区の区長さん、老人会長さん、民生委員さんのご自宅を訪問し、月1回の公民館活動などに参加できるように交流を深めて行きたいと思う

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域委員を設置し、会社全体での会議で情報交換を行いながら、色々な意見をもらいながら取り組んでいる		自治会の方々と定期的に話しをしながらお互いが協力出来る環境作りとなるよう努力している
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は月に2回実施中で、その評価を生かす為に努力し、個人のスキルアップを図っている。また、介護知識と技術の向上を目指し、日々勉強会を通じて改善に取り組んでいる		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の割合で運営推進会議をホーム内で実施。地域の方々御家族の方、町役場福祉課の方々と一緒に利用者様が地域の中で楽しみや生きがいを見つけて生活できるように意見交換をしている		御家族の代表者の方をはじめ、地域のかかわりのある方々の出席を頂き、その場で意見交換をしながらサービスの向上に努めている
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	こまめな連絡を取り合い情報交換や相談をし、お互い協力しながらサービスの質の向上に取り組んでいる		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要と思われる御家族には、その都度ご説明とアドバイスを行い、入居契約時にも再度説明している		職員は権利擁護に関する制度の理解を深める為に内容を表示した物を目につく場所に掲示したり、資料を基に学ぶ努力をする
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の支援の中、常に身体的・精神的苦痛をあたえないかと心配りと気配りをし職員同士で注意しながら防止に努めている		外部・内部勉強会やミーティングに参加し、しっかりと認識したうえでケアに重視している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>相談窓口を大きくして色々な問題点をいつでも話せるようにしている</p>		<p>不安や心配事は常にあると思われるので、そのためにもホーム内の雰囲気や職員の対応についても注意を促しながらどんな時でも対応できる様に取り組んでいる</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情はすぐに全職員に知らせる為に回覧したり、その時点で苦情に関してのミーティングを行いその対応策についてもしっかりと話している</p>		<p>日常生活の中での会話を大切にし利用者様の気持ちを読み取り、一人一人が生活しやすいような環境作りに努めている</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月毎に発行している通信にて情報は最新で伝えている。また、緊急な時は電話をさせていただいたり、面会時を利用して聞かれなくても情報はお知らせしている</p>		<p>御家族との交流を深め、もっとサービス提供のために職員一同向上心をもって努めると共に安心の介護に努めている</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族の意見や不満などは、その都度耳を傾け、意向に沿う様にしている。</p>		<p>御家族の意見・不満・苦情等も、より良い支援に向けて、全職員へも伝達する様心掛けている。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的なミーティングを設置し、意見交換を行い、サービス提供に繋いでいる。</p>		<p>意見交換と情報の共有でサービス提供に努める。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要な時間帯に、職員を確保する為の話し合いや勤務調整をしている。</p>		<p>行事などで職員数が必要な時は、利用者には負担がかからない対応が出来る様に調整している。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者に不安を与えない様に、しっかりとしたフォローを行っている。</p>		<p>離職率の高い中、出来るだけ最小限に抑えて、新職員と現職員が連携をとり、利用者様にダメージを与えない様な配慮をしている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>本人の人格を尊重し、性格や年齢などを理由に採用対象外にはしない。すべての部分でスキルアップに向けて研修制度も設けている。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>会議、ミーティング・申し送り時に人権の教育や啓発活動に取り組んでいる。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受けられる機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>色んな形での勉強会や研修などを定期的実施し、ワーク作りをしている。</p>		<p>行動規範(5つのワーク)に基づいて、日々努力している。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者や医療関係者、またサービス業の方や異業種との交流を進めている。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>その都度また、年2回ほどの管理者と職員との個人面談にて相談に応じている。他施設の職員と意見交換をする事で、軽減できるよう取り組んでいる</p>		
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>職員の得意分野の中から力が発揮できる機会を増やし、各自が向上心を持ち自信をもって働けるようしている</p>		<p>職員のよいところをしっかりと伸ばしてやりながら不得意とする事にはしっかりと意見をフォローする努力をしている</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>訴えや不満などを普段の会話の中からいち早く察知してしっかりと傾聴する努力をしている</p>	<p>意欲向上を阻止しない様に日常生活のなかで本人が求めていることを引き出せる努力をしている</p>
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>御家族や利用者様が何でも話したせる雰囲気づくりをしつつ色々な形で会話ができる機会を作っている</p>	<p>沢山の意見をもらって本人が過ごしやすい環境を作り御家族の要望を取り入れるよう努めている</p>
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>介護相談時に広域連合保険や介護保険サービスをどう利用するか等相談を受け対応している</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぐに馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>まずインテークから始まっていると考え第一印象やその場の雰囲気を考えながらその方の人生を御家族や情報を利用しながらゆっくり馴染んでいただける受け入れをして入る</p>	<p>雰囲気や生活のリズムを感じていただけるように納得していただいた上でサービス提供に努めている</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている</p>	<p>相手の気持ちになった上で尊敬し人生の先輩だという意識を持ちともに学び取りくんでる</p>	<p>会話を通じて意思の疎通を図り一緒に過ごしながら喜怒哀楽をともにしつつ本人から学びながら支えあって信頼関係をもてるよう努めている</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者様と御家族の立場を共有しつつ、自分達も努力しながら一緒に良い関係を築いている		御家族の気持ちで共感し、情報交換しながらより良い支援にむけ話し合い本人を支える努力をしてる
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	お互い情報交換を行いながら、利用者様を支援している		御家族の訪問と交流を通して、日頃から情報を頂き、利用者様が安心して生活できるように支援している
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	利用者様にとって、とても大切な事なので御家族の協力を得ながら今までの関係が急にとぎれてしまわないようにしている		面会を含め利用者様の体調や意思を第一に考えたうえで、外出をたくさんとみ入れている
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わら合い、支え合えるように努めている	孤独にならない様に、他階の人たちとも交流しながらいつも関わら合っている		合同での行事や月毎に行ない、同じ趣味を持った利用者様同士や気の合う人同士が支えあい、かかわることができるレクリエーションを実施している
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わらを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去になった後も、時折行き先に出向いたり、前利用者様の御家族とも関わらを絶やさないように、今までの関係を保っている		病院やご自宅を訪問したりしているうちに退去されお亡くなりになった方などお盆のお参りをしたり、今だに植木鉢でお花を頂いたり御家族同士のお付き合ひも続いている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランを通じて、集団ケアより先個別ケアに重点を置いて意向に添えるように努めている		利用者様がどんな事を求め、何ををやりたいか聞き出せるように努めている
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェースシートを作り把握するよう努力している。御家族からの情報を新しく収集した時は、その都度書き加えて職員で共有している		日常生活環境を、本人が安らげる場として提供できるようにつとめている
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	全職員が全ての記録に関わり共有している		日々の観察や働きかけを通じて心身状態を有する力などの現状を総合的に把握するようつとめている
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	個人面談、家族面談をした上で全職員でのカンファレンスを行ない介護計画を作成している		利用者様の意見や要望を優先したプラン作成に努め全職員でカンファレンス実施した上で介護計画を作成している
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化が生じた場合は、緊急なカンファレンスを実施し、全ての情報と共に見直しをして、新たな介護計画を作成している		介護計画の見直しを三ヶ月ごとに実施し、又変化に伴ったプラン作成にも反映させている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に必ずプランについての評価にちなんだ記録を行ない、情報を共有しながらプランの見直しにも役立てている		申し送りや様子観察の中で職員同士で話し合える機会を設けて介護計画の見直しに生かしている
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家庭の雰囲気そのままに本人の要望は可能な限り受け入れている		要望に応じる事が出来る環境を整え、本人のペースで生活できるように支援している
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	通信などでボランティアの呼びかけは常に行ない、防災訓練などを得て消防署の方々にアドバイスや指導をいただいている		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて訪問マッサージなどを利用されている		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと密に連絡を取り合い、連携を図りながら協働している		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療との連携もしっかりとなされ日々の相談事もすくに対応していただき緊急時の対応も敏速に対処している		かかりつけ医と連携をとり常に日々の状態を報告・相談し、的確な助言・アドバイスを頂いている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医に現状をこまめに報告し相談や指示を頂いている		往診や受診対応で利用者様への声掛けも信頼性がある
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	主治医から来疹時には担当看護師も同行し利用者の状態を把握し日常の健康管理と医療相談を受けている		医院へ全職員が相談することが出来、主治医が留守の時は院長による往診や受診体制をとっている
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関へ定期的に出向き情報収集と情報交換を行ないいつでも受け入れ態勢を整えている		報告は対応職員が関係者にきちんと伝わるよう申し送りをきちんとしていく努力をする
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者様の状態は日々変化しているのでその都度連絡を取り合い御家族に対してはターミナルケアについての同意書を頂いたり今後の方針を話し合っている		対応方針を常時話し合い、状態変化がすぐに判るように申し送りを活用している
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	グループホームでは看護職が居ない為、かかりつけ医と常に連携を取り合いどうするかなど今後に向けて検討している		常に状態を把握し、申し送り報告・連携を強化している
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	双方が十分話し合い検討した上でその人に合ったプランを考慮し、実施できるよう努めていきたい		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーに関しては常に念頭においている。特に自尊心を傷つけないよう配慮し、尊敬の念で接している</p>	<p>記録 個人情報は一箇所にまとめており 持ち出し禁止を徹底し、外部に流出しない様に取り扱って入る</p>
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたい納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>できるだけ本人の思いや意思確認を怠らず、尊重する様に支援して。決め付けて行かない様に、相談しながら対応するよう努めている</p>	<p>本人の意思 御家族の意向も考慮し、大切に支援して行きたい</p>
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人のペースを大切に、支援できるように努めている</p>	<p>利用者様の希望通に添えないときもあるが、一人一人のペースを大切にしながら利用者様の声に耳を傾け。実現可能な限り実行していきたい</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるよう努めている</p>	<p>個性を大切にしながら、その日の体調や気候を考えて、声かけをさげなく行いながら支援し、理美容は訪問を利用し希望に沿った整容をして入る</p>	<p>お洒落をしたいと思う気持ちは、誰もが秘めているので、お洒落をする事で何かを引き出し、生きがいを感じてもらいたいのでいつまでもお洒落が出来るように支援していく</p>
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者様が持って入る力を十分引き出せる努力をしつつ、出来る限り手伝って頂き同じ時間を共有している</p>	<p>好みは一人一人違うが、同じテーブルを囲み、楽しく食事が出来るよう配慮しながら、安全面と衛生面もしっかりと考え、利用者の声を聞きながら、彩りや季節の物を取り入れた食卓にして入る</p>
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>嗜好品は本人の唯一の楽しみである為、可能な限り提供して入る。又、健康管理にも十分に努めながら取り入れている</p>	<p>高齢者は甘いものや辛い物を好む傾向にあるが、健康までも害する状況にならない様に、気をつける配慮も大切な支援だと認識する</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者の排泄パターンを知る事で、スムーズな誘導が実施できている。又、便意、尿意のチャンスをつかみ自然排泄を促す事で気持ちの良い排泄に繋がっている。		排泄パターンを熟知し、日々観察しながら失禁が減るように早めに察知し、気持ちの良い排泄に繋がるように努めている
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間設定も無く、自由に入浴出来るように支援している。個人差はあるが、未入浴日が長くない様に優先しながらの声掛けも実施している		入浴も生活の中で楽しみな時間なので、希望に沿えるように努めていくとともに、入浴が苦手な利用者様にも入浴を楽しめるように支援していく
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様の生活習慣も考慮しながら、年齢や状況を把握した上で、安心した環境を提供し、休息・安眠を支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人の能力ややりたい事を役割として活かし、声かけを行いながら支援している。またレクリエーションの一環として取り入れている		利用者様の事をしっかりと知ることで、何に喜びを感じるのかを探求し、支援につなげるよう努めている
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様が自分で管理されている方には、買物時、利用されている		所持金と預かり金は明確に管理している
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の散歩や、レクリエーションとして個別に好きな場所に出かけている		個人のレクリエーションとして外出支援は強化している
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	御家族の方の協力を得ながら、外出の機会を作っている。またできる限り本人の希望する場所へ出かけている。又、週1回の割で御家族の方の送り迎えがあり、楽しい時間を過ごされたり、一時帰宅などされる方の支援も実施している		個別レクとして、公共の交通機関を利用して、遠出をしたり可能な限り実施できるように努めている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	常時本人が希望すれば対応している。年頭の年賀状に関しては楽しみに色々な人に書かれて出されている		本人から御家族へ手紙などを書き、それを交換し継続していけばよいと考えている
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	常に訪問していただけるように、その空間を大切にしながらゆったりと過ごしてもらっている		居心地の良い、今以上の環境づくりに取り組んでいる
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	対策委員を設置し、毎月定例会議を行ない身体拘束をしないケアに取り組んでいる		身体拘束に関する情報収集や正しい知識を得るために、全職員で共有している
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	電子施錠であるが、利用者様の状況や安全確保をしながら、開放している。正門は朝7時～夜8時までは開放している		玄関はオートロックだが、利用者様がいつでも外出できるように解除し、鍵をかけないケアに取り組んでいる
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に職員が見守りをしており、昼夜把握している。安全性の保持と事故防止に努めている		昼夜を通して利用者様の状況を確認し、安全第一に配慮している
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	お預かりしている物品もあるが、必要に応じて職員立会いのもと使用している		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	定期的に勉強会を行ったり、外部の研修などにも参加し、全員で取り組んでいる。また、危険因子の排除や認識を深め、事故防止に努めている		転倒がない様に、誤薬がないように、細心の配慮を行ない一人ではなく数名で対応する事で防ぐ事が出来る事もあるので全職員が知識を向上する事を旨とする

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修や勉強会などを実施して、知識を身につけている		マニュアルなどは確りしたものがあるが、実際に体験していない事も多く訓練は今後も必要だと考えてる
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	訓練を定期的に行ない地域の方々への協力も得る事ができるように働きかけている		利用者様が無事に避難誘導出来る様にしっかりと対策を身につけておけるように、定期的な実践講座をもっと取り組みいれていきたい
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	起こりうるリスクについてはご家族にはケアプランを通して状況説明をしている。職員もリスクを確りと話し合い委員会を設置しているので、定期的にミーティングを実施している		委員会を設置し、担当職員がしっかりとリスクを把握した上で、通信や介護計画書にて御家族に説明している
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員の小さなキツキが異変を発見する可能性もある為情報の共有を大切にしている		利用者様の体調の変化や異変の早期発見に努め、申し送りや他職員への伝達により、速やかな対応ができるので統一している
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用の有無・増減までを確りと理解し、常に症状の変化に気付く努力をしている		くすりの用途・副作用などしっかりと理解し、過ちを起こさないように確認していく事に取り組んでる
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘は体に悪影響を与えることを認識し、食事・水分運動のバランスを工夫し考えた上で便秘対策に取り組んでいる		環境の変化も大きく影響するので、緊張感を取り除きリラックスできる雰囲気づくりに大切にしていきたい
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを欠かさず行ない、訪問歯科さんと連携を図りながら支援している		できるだけ自立支援を促し本人が出来ない部分を支援して行きながら口腔内の清潔保持に努めるとともに全身疾患となる歯周予防に努めていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々利用者様の摂取量を把握すると共に、個別に状態観察をしながら対応している		食べる事の楽しみ・喜びを多く持った利用者様の希望も出来る限り取り入れながら個部対応にて支援している
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防や対応の取りきめがある。委員会も設置しているため毎月のミーティングで知識の向上に努めている		日頃からの認識も必要だが、より深く勉強していかなければならない
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎食後の消毒(ハイター煮沸)を欠かさず、食品管理担当などを取り決めて食中毒の予防にも注意をはらっている。生物の提供は控え、必ず火を通す作り出しはしないなど徹底的に管理している		冷蔵庫内の清掃も欠かさず、調理用具(まな板、包丁4分類)している
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	毎日の外掃除には担当を決めて、周囲の清掃には力を入れている。玄関先には花壇を作り近所の方や御家族の方から頂いた花や野菜の苗を植えて毎日手入れしている		玄関をできるだけ開放し、ホーム内の生活臭や絶えない笑い声を聞いて声を掛けて下さるように工夫をしてる
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	皆がいつも集まるリビングには、利用者様が散歩で摘んできた季節の花を花瓶で生けてテーブルや洗面台に飾っている		使いやすさや安全を確保した上で、リビングには四季折々の草花を活けて、季節に応じた装飾なども工夫して飾り写真の掲示で利用者様の穏やかな表情も見ていただけるようにしている
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内にソファや椅子を置き、一人の時間を楽しめたり飼って入る金魚とお話されたりと、思い思いに過ごせるように工夫している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具や寝具を持ち込まれ、以前過ごされていた部屋と同じ雰囲気でも過ごしてほしいと、家具の位置や仏壇の位置ともおなじ配置となっており住みやすい部屋になっている		何でも使い慣れたものを使用しぬくもりを感じながら生活できるように工夫している
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室内の空気や臭い、外の空気を取り入れたり こまめに換気を行なっている。なお、排泄臭は即効性のあるスプレーや消臭剤の設置により消している		外気温との温度差には十分気をつけてこまめな調節を行っている
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の残された機能を十分活かせるように、物の配置は位置の工夫や手すりなどの活用で、安全第一に考えながら自立支援をしている		利用者様にとっては広い空間も狭く感じたりされたりする場合もある為、再度空間づくり先していきたい
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	認知度の度合いによって、一人一人の生活パターンも違う為、意欲に繋がるような支援や、場所を示す大きな表札など、工夫している。		混乱の際は、職員同士が連携をとりながら、ゆっくりと対応している
89	建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり活動できるように工夫している	プランターでのお花のお世話や、玄関先の花壇を利用し野菜を植えて活動できるようにしている		屋上では、外気浴や行事など幅広く活かしている。しかしながら風が強吹くので細心の注意をはらい対応している

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

個別ケアを重視している。介護度の高い方への散歩や食事の工夫をして入る。また家族の協力を得て自宅への一時帰宅や外出をしている。